



## 【鳥の海干潟観察会】

令和3年6月26日（土）8：30 -15：30

場所：巨理町鳥の海

スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会  
南三陸町自然環境活用センター

講師：鈴木 孝男先生  
（みちのくベントス研究所）  
金谷 弦先生  
（国立環境研究所）



その他指導して下さった方々：多留聖典さん、青木美鈴さん、海上智央さん、菅孔太郎さん  
※志津川高校自然科学部の部員のみなさんも参加しました。



### 「鳥の海ってどんなところ!？」

・鳥の海は、宮城県巨理郡巨理町にあり、宮城県で最大の干潟があるところです。阿武隈川の河口近くにある汽水湖（海水と淡水が混ざり合う湖）で、大潮の際には広い干潟となります。南三陸町内の干潟は規模が小さいので、鳥の海に干潟の持つさまざまな機能を学びに行ってきました。



### 「さあ、観察してみよう!」

最初に鈴木孝男先生より、鳥の海の説明や調査方法を教えていただきました。

- ① 調査エリアの干潟において地表や石の表面、土中を20分間程度探索し、見つけた生きものをバケツに入れる（各自移植ベラを使用）。
- ② 見つけた生きものを持ち寄り、専門家の指導の解説を受けながら観察する。
- ③ 観察後生きものを元の場所にもどす。

以上のように観察しました。





## 「鳥の海にはどんな生きものがいたの？」

干潟には、コメツキガニ、ヤマトオサガニ、イソシジミ、コアシギボシイソメ、ヒモハゼなど61種の生きものがみられました。(研究者のみなさんが見つけた生きものも含む)  
また、観察会には干潟博士、カニ博士、ゴカイ博士、貝博士など6名の専門家の方々に参加していただき、それぞれの生きものについてくわしく説明してもらいました。



## 「うみを見ながらのお昼おいしかったな！」

青空の下、みんなで海を見ながら昼食を取りました。昼食後は、砂浜を散歩したり、岩場の生きものを観察したりしました。



## 【次回の予定】 7月17日(土)：八幡川の生きもの調査

今年も、志津川高校自然科学部のみなさんと一緒に、八幡川で生きもの調査を行います。みんなが暮らす町を流れる川で、たくさんの生きものを見つけましょう！絶滅危惧種など貴重な生きものも見つかるかもしれません。是非ご参加ください！

